

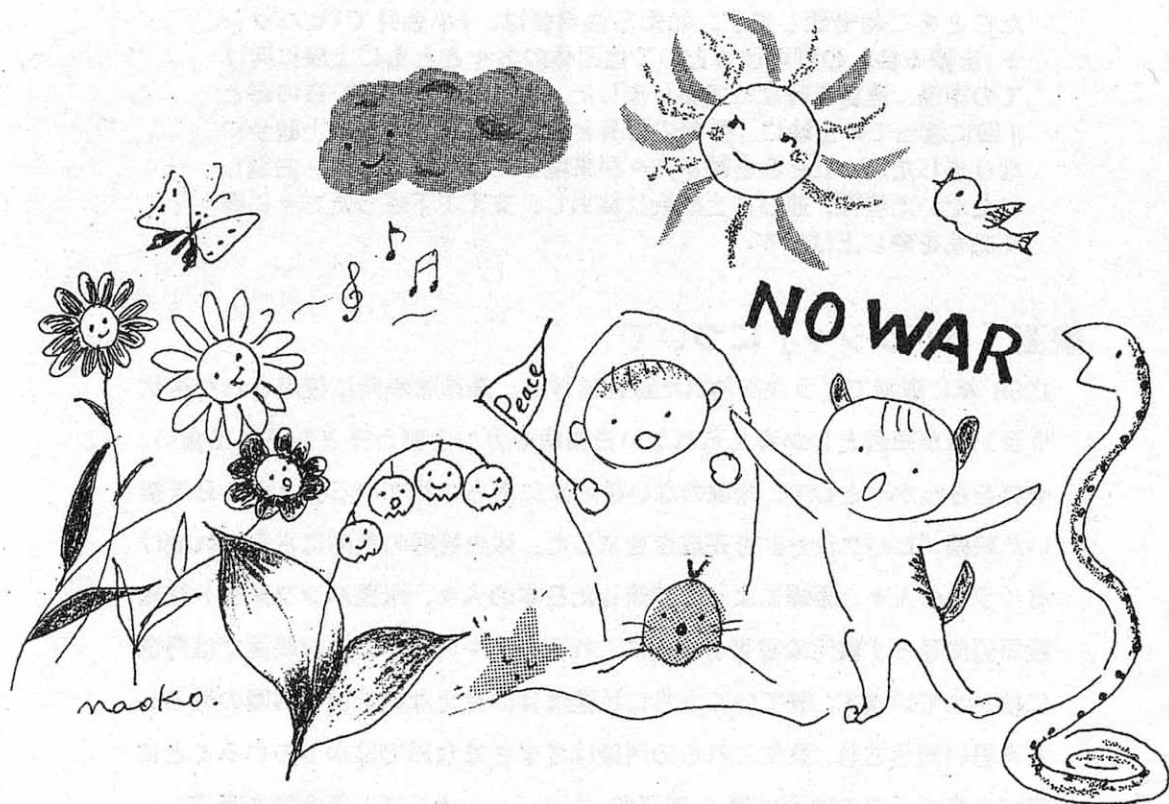
こがねい)

2004.5.

第11号

放射能測定室だより

発行：川金井市放射能測定器運営連絡協議会
連絡先：川金井市 緑町 5-19-14-608
(事務局) Tel.Fax 042-385-6650 (江藤)



お礼と報告

映画『^ヒバ^クシ^ャ』 上映会 &

監督 鎌仲ひとみ さん 講演会

2004年2月22日
小金井市公民館本館にて

去る2月22日ここ小金井において今話題の映画「ヒバクシャ」の上映を実現させることが出来、また、同映画の監督である鎌仲ひとみさんに直接おいでいただき貴重なお話を伺う機会を持ちましたことをご報告致します。私たち協議会は、『小金井で「ヒバクシャ」を観る会』の賛同団体として他団体の方々とともに上映に向けての準備、運営を行なって参りました。当日は午前・午後・夜の部と3回に渡っての上映に、監督の講演会と、一日を通しての上映会になりましたが、100名を越す方々が来場して下さいました。お越しいただいた皆様、並びに上映会に協力し、支えて下さった方々に厚くお礼を申し上げます。

映画「ヒバクシャ」について

1998年に取材でイラクを訪れた鎌仲監督は、湾岸戦争時に使用された劣化ウラン弾が原因としか考えられない白血病やガンと闘う子ども達と出会い、それをきっかけとして、国境のない核汚染にさらされている我々の今日を描いた映画「ヒバクシャ」を完成させました。体内被曝の危険にさらされ続けるイラクの人々、原爆によって被爆した日本の人々、米国ハンフォード核施設周辺に暮らす核汚染被害者、主にこれらの人々の姿が、この映画では丹念に描かれています。観ていくうちに私達は目に見えない低線量被曝の恐ろしさを思い知らされ、更にこれらの汚染はさまざまな形で拡がっていることに気づきます。この映画は第9回平和・共同ジャーナリスト基金賞を受賞し、自主上映によって全国各地で上映されています。その数は2004年2月現在170ヶ所を上回っているそうです。海外においても韓国の釜山をはじめイタ

リアでも上映され、この後台湾、香港、ドイツで上映の予定があります。また、外国向けに 90 分の英語バージョンを作ることも検討中ということでした。映画のホームページは以下の通りです。今後の上映予定等も載っています。

映画 HP.....<http://www.g-gendai.co.jp/hibakusha>

監督 鎌仲ひとみさんのお話

映像の作り手である鎌仲さんは、この映画を自由に観て欲しいと話されました。この映画は現在全国各地で自主上映されていますが、受け手が自主上映という形をもって、自分達の手で観る場を設け、自分の意志でこの映画に向き合い、自由に感じて欲しいというのが監督の願いであるということでした。また、世界中の人達にこの映画を観て欲しい、その為この映画では、新しい被曝の形である低線量被曝についてのみ、的を絞って描いた、とも伺いました。映像作家としての今までのお仕事のお話、イラクでの闘病する子ども達との出会いからこの映画の完成に至るまでのお話や、兵器としての劣化ウラン弾が帰還兵にも与えている健康被害のお話、また今後の予定として、ボスニアを題材としたもの、青森・六ヶ所村の再処理工場稼働を扱ったものを考えているというお話を 1 時間半に渡って聞くことが出来ました。

「劣化ウラン廃絶キャンペーン・東京」が設立されました。

鎌仲監督、写真家の森住卓さんらの呼びかけにより、劣化ウラン弾の廃絶を訴え、廃絶条約締結に向けて活動する団体「劣化ウラン廃絶キャンペーン・東京」がこの度設立されました。今後市民団体とも連携し、全国的な運動につなげていくということです。『小金井で「ヒバクシャ」を観る会』では、今回の上映会での収益金 38387 円を同団体にカンパ致しました。活動を紹介したホームページは以下の通りです。

「劣化ウラン廃絶キャンペーン・東京」HP

<http://popup12.tok2.com/home2/rekkauran/>

劣化ウラン弾の話

劣化ウランとは

天然に存在するウランには核分裂をおこすウラン 235 が 0.7%しか含まれていないため、そのままでは原子力発電にも核兵器にも使うことができません。そこでウラン 235 の割合を 3~4%に増やして(これを濃縮といいます)、原子力発電の燃料や核兵器に使えるようにします。その時余ったものを「劣化ウラン(主にウラン 238)」といいます。

「劣化」とは言っても、れっきとした放射性物質です。

この劣化ウラン、ゴミ同然のものですが(だから値段が安い!)、砲弾として利用すると威力を発揮します。非常に硬く、重いので、貫通力が抜群で、戦車をも撃ち抜きます。さらにその際の衝撃力で発火し、内部で激しく燃焼します。その温度は 3000 度を越えるそうです。

戦車やトラックに射ち込まれて爆発、炎上した劣化ウラン弾は、ウランの微粒子(1ミクロンほど)になって空中にばらまかれます。これを吸いこめば肺に付着し、血液に入れば全身をめぐって様々な部位に定着し、放射線を出しつづけます。どのくらいの時間出しつづけているかといえば、その力が半分(半減期)になるのに 45 億年かかるということですから、ほとんど永久にと言って良いでしょう。また、劣化ウランは重金属としての強い毒性もあり、末梢神経障害や腎臓障害を引き起こします。

どのように使われたか

劣化ウラン弾が最初で大規模に使用されたのが 91 年の湾岸戦争です。多国籍軍によって少なくとも 300トン以上の劣化ウランが使用されました。その後、95 年のボスニア・ヘルツェゴビナ紛争、99 年のコソボ紛争で使用されています。

イラク・クウェートでは、湾岸戦争以前はめずらしい病気だった小児白血病が湾岸戦争後増え続け、死産や先天性異常も多発しています。また、湾岸戦争の従軍兵士やその子どもにも、様々な健康障害が数多く出ており、「湾岸戦争症候群」と名づけられ、その原因が劣化ウラン弾ではないかと疑われています。

しかしこのような状況があるにもかかわらず、アメリカは劣化ウランの害を認めようとはせず、今回のイラク戦争では湾岸戦争をはるかに上回る量の劣化ウランを使用しました。

今、イラクでは

バグダッドの中心街にある国家計画省の建物にも、今回のイラク戦争で劣化ウラン弾が撃ち込まれた跡があります。劣化ウラン弾は戦車の、10 cm厚さの装甲板をも撃ち抜く力のあるものなので、通常の建造物であれば スポンスポンと突き抜けるだけ。爆発もせず、壁に穴をあけるだけです。しかしそこらへんにころがって放射線を出しつづけます。ガンマ線測定器で測ると、通常の 100 倍の値を示す所もあるそうです。

イラクの子ども達にとって戦車はかっこうの遊び場です。よじのぼったり、かくれんぼしたり、鉄棒がわりにしたり……

今も劣化ウラン弾によって破壊され被曝した戦車がうちすてられたままになっているところがあります。

戦車などにあたらす爆発・炎上しなかった劣化ウラン弾はそのまま地中にとどまります。ウランは水溶性ですので、埋まったまま土中の水分に溶けて大地や地下水を汚染していきます。

舗装された道路などに穴があいていればわかるので、掘り起こして回収することもできるかもしれませんが、砂漠などにもぐりこんだものは、ひとたび砂嵐でも吹けば穴はかくれ、みつかることがむずかしくなります。地下 1.5~2mの深さにある劣化ウラン弾をすべて回収するのはほとんど不可能ではないかと言われています。

せめてアメリカやイギリスはどこで、どれだけ劣化ウラン弾を使用したか公表すべきでしょう。その害を否定しながらもアメリカ軍には「劣化ウランマニュアル」があり、兵士たちに「ウランのチリには注意するように。汚染には近付かないように」と注意をうながしているのです。

私たちにできること

イラクにとって、わたしたち日本人ができる最も良いことは、人類史上唯一の被曝国として、これまでの被曝者治療経験を生かすことではないでしょうか。

現在、10年前の湾岸戦争で使用された劣化ウラン弾の影響と考えられる白血病をはじめとするガンに苦しむ子どもたちが増えつづけています。

これまでの経済封鎖や今回の戦争のために治るべき子どもも、むなしく死においやられていると聞きます。

今回のイラク戦争で使用された劣化ウラン弾も加わり、今後さらに長期にわたって子どもたちは苦しむことになるでしょう。

武器に「人道的」「非人道的」もないと思いますが、劣化ウラン弾のような、半永久的に放射能で環境を汚染し、そこに住む子どもたちや胎児が被曝しつづけるような兵器は即刻使用禁止にすべきでしょう。

軍隊を送る経済力があるのなら、どうしてそれを薬や医療設備のために使えないのでしょうか？

2004.4.13

朝日新聞
57

「米兵から劣化ウラン」

元軍医報告 サマワ駐留の4人

イラク南部のサマワに米憲兵隊員として駐留して掃蕩した9人が体調不良を訴え、4人の尿から劣化ウラン(DU)が検出されていたことがわかった。来日した元米陸軍軍医のアサフ・ドラコビッチ博士が12日、東京の市民集会で報告した。「米軍の砲弾の燃焼ダストによる被曝によるもの

で、現在、駐留中の自衛隊員も被曝の可能性は極めて高い」と警告した。核医学を専門とするドラコビッチ博士は91年の湾岸戦争でのDU弾の使用を批判して米軍当局と対立。97年に軍を離れ、ウラニウム医療研究センター(U-MRC)を設立した。

報告によると、昨年4月から8月にかけて、オランダ軍に引き継ぐまでサマワで警備任務などに就いていた重曹(97)の9人は、慢性的な頭痛、吐き気、腎不全、免疫障害など

に悩まされU-MRCに相談した。昨年12月、9人から採取したドイツの研究所で分析した結果、9人中7人から自然界では存在しないウラン236が、うち4人から他の劣化ウランの同位体が検出された。

博士は「ウラン236は核実験の影響などではない」と述べた。これまで米国防総省が認めているDU被害は交戦中でのDU弾の破片の被曝によるものなどだけだ。

タ(UMRC)を設立した。報告によると、昨年4月から8月にかけて、オランダ軍に引き継ぐまでサマワで警備任務などに就いていた重曹(97)の9人は、慢性的な頭痛、吐き気、腎不全、免疫障害な

〈東京都の食品安全条例について〉

この春に東京都で東京都食品安全条例が制定されました。この条例の特徴は、食品の安全を守る為、①事業者責任を基礎とする安全確保 ②科学的知見に基づく安全確保 ③関係者の相互理解と協力に基づく安全確保 の3本柱を基本理念としている点です。

都の方の説明によると、以下のような都独自の未然防止策を創設することでした。

- ① 安全性調査・措置勧告.....基準等が定められていない食品など法で対処できない課題に対し必要な調査を実施します(拒否等は 20 万円以下の罰金)。また、調査の結果、健康への悪影響が懸念され、法的な対応が困難な場合には事業者に必要な措置をとるよう勧告し、その内容を公表することができます。
- ② 自主回収報告制度.....事業者の責任で問題のある食品を回収した場合、都への報告を義務づけ、都はその情報を公表し、回収を促進します。

また、安全性についての情報を都独自に集め、多角的に判断し、分析・評価する機関として「食品安全情報評価委員会」を設置し、条例の附属機関とするそうです。消費者、業者、都の三者が食品について同じ価値観を持ち、納得できる安全なレベルを探っていける、デスクコミュニケーションを作って行きたい、ということですが、このような見地から、審議する機関として「食品安全審議会」も設置されます。

なお、この条例では、口に入る“食品”だけではなく、添加物、器具、容器、包装、食品の原料、材料として使われる農林水産物、農林漁業で使われる肥料、農薬、飼料、飼料添加物、動物用の医薬品他、食品の安全性に影響する恐れのある物も取り上げています。

私達協議会では、測定結果を都に伝えるなどして、東京都が条例を進めていくのに参加して行けたらいいと考えています。

【2003年度 放射能測定結果一覧表】

(2003年4月～2004年3月)

	測定品目	件数	原産国	測定結果(単位:ベクレル/kg)
乳製品	粉ミルク他	5		検出されませんでした。
ナッツ類	生ヘーゼルナッツ	3		"
	ヘーゼルナッツ	1	トルコ	10.00
	ヘーゼルナッツ	1	トルコ	11.40
	カシューナッツ アーモンド他	3		検出されませんでした。
海産物	昆布 干しエビ他	5		"
穀類	米 スパゲッティ シリアル	3		"
きのこ	ポルチーニ	1	イタリア	31.22
	ポルチーニ	1	イタリア	53.82
	ポルチーニ	1	イタリア	83.3
	乾燥マツタケ	2	中国	検出されませんでした。
	乾燥キノコ3種	3	フランス	"
	乾燥キノコ	1	フィンランド	123.53
	干しシイタケ	2	日本	検出されませんでした。
	干しシイタケ	1	日本	24.44
	キクラゲ	1	中国	検出されませんでした。
お茶	ウーロン茶 ブレンド茶	2		"
その他	86ローリエ	1	トルコ	390.82
	塩	2		検出されませんでした。
	ナツメヤシ	1	イラク	"
	ビーフジャーキー	1	アメリカ	"
	飲料水	1	日本	"
	ココナッツパウダー	1	タイ	"
	ケーキミックス	1		"
	ピーナッツバター	1	アメリカ	"
	メープルシロップ	1	カナダ	"
	スパイス	1	イタリア	"
	合計	47		

* 以上のほか保育園、学校給食材29件を測定し、いずれからも放射能は検出されませんでした。

* 年度始めパソコン故障のため3回測定ができませんでした。

☆セシウムはチェルノブイリ事故によって大量に放出された放射能です。過去の核実験により地表に蓄積もされています。分解されるのに時間がかかるので(半分の量になるのに約30年)いったん環境に出してしまうと長く残ります。

☆ヨウ化ナトリウム検出器にて200cc6時間測定しています。

▶ 測定依頼をお寄せください!!

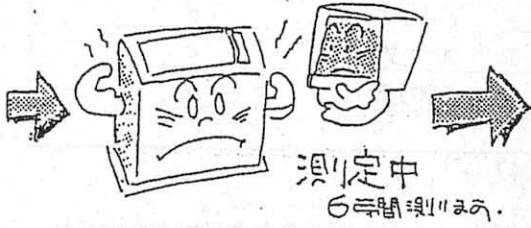
申し込み方法等は ですよ。よろしく

お願いします!!

なお、実際に測定にかかわりたい方、
 手に協議会に参加したい方、いつでも募集して
 いますのでご連絡ください。大歓迎です。

はかってほしい時は

- 1** 市役所経済課に問い合わせの
 申込みをしてください。
 042-387-9831
 (経済課)
- 2** 測定日の指定が
 あります。
 申込み
- 3** 指定日の朝9:00に検体(はかりたいもの)を
 上り原倉館 に持参し、協賛会測定室に
 持たします。(※検体は細かく、くだいてください)
- 4** 検付書に
 必要事項を記入。
- 5** 夕方、検体を引き取りに来てください。
 測定結果を記入した通知書をお渡しす
 ください。
 検体



※ 370×71L
 以上が検出された場合は別途、
 希釈測定を行ないますので、ご持参
 いただいた検体は返却できません

★ 200ccの容量が必要です。
 (スリッパでは150ccの
 住したけでは210gくらい)
 測定時: 検体によって容量が異なるため
 十協賛会に問い合わせください。

★ 食品に限ります。
 ★ 無料です。

